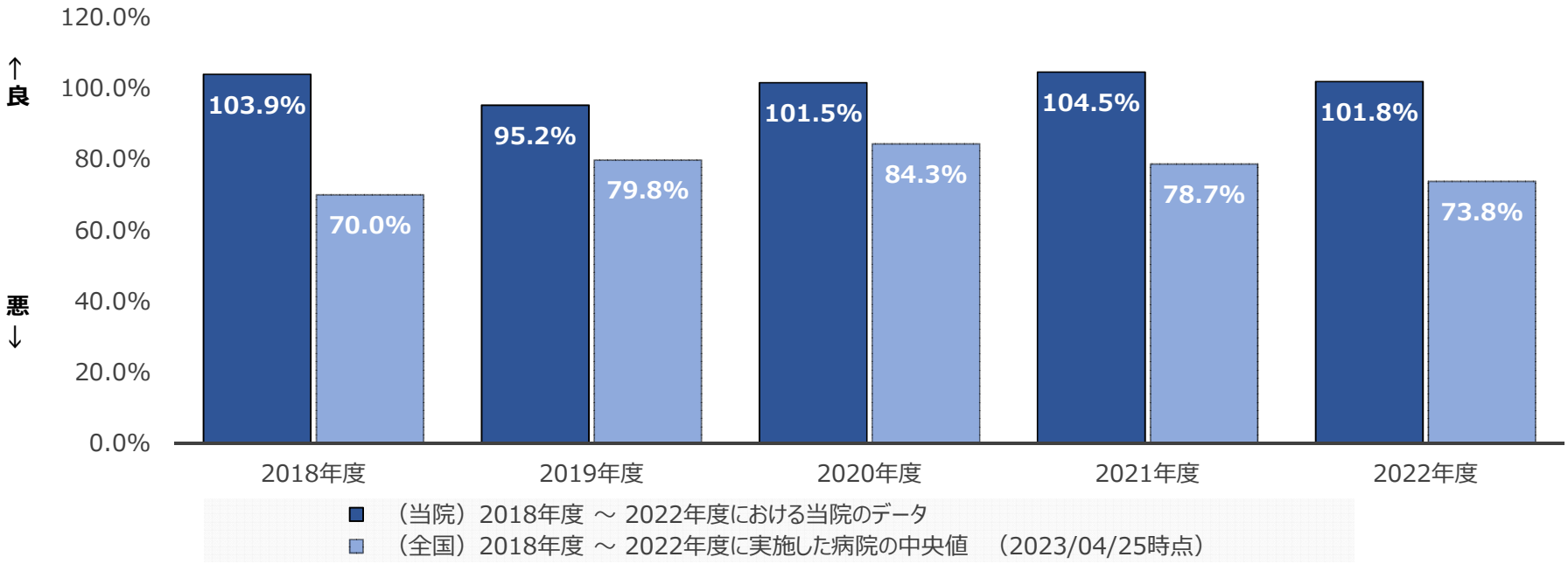
【5】逆紹介率【一般】



＜定義＞

$$\frac{\text{（分子）逆紹介患者数}}{\text{（分母）初診患者数}}$$

※紹介患者数･･･文書で紹介された患者＋休日･夜間の救急患者

＜コメント＞

逆紹介率とは、当院から他の医療機関に紹介させていただいた患者さんの割合です。

近年医療現場は多様化しており、各医療機関の特性や機能を明確化し、地域の医療機関との連携・機能分化を促すことが、プライマリケアの視点からも重視されています。

高度医療を提供する医療機関にだけ患者さんが集中することを避けて、症状が軽い場合は「地域のかかりつけ医」を受診し、そこで必要性があると判断された場合に、高い機能を持つ大規模病院を紹介する、そして大規模病院等で治療を終え症状が落ち着いたら、その後の継続した観察を「地域のかかりつけ医」へ紹介しお任せする、これを相互理解の上で協力することで、地域の医療との連携を図ります。

当院の逆紹介率は調査参加病院の中央値を大きく上回る高い水準にあり、地域の中での機能分化が定着してきていると言えます。

今後も地域医療機関との病診連携の強化に努めてまいります。